

スポーツ選手におけるイップスの経験と心理的成長との関連：野球選手を対象に

松田，晃二郎

<https://hdl.handle.net/2324/2236006>

出版情報：Kyushu University, 2018, 博士（心理学），課程博士
バージョン：
権利関係：

氏名	松田 晃二郎			
論文名	スポーツ選手におけるイップスの経験と心理的成長との関連 －野球選手を対象に－			
論文調査委員	主査	九州大学	教授	杉山 佳生
	副査	九州大学	教授	西村 秀樹
	副査	九州大学	准教授	古賀 聡
	副査	九州大学	講師	内田 若希

論文審査の結果の要旨

本論文は、「イップス」という運動障害の経験とスポーツ選手の心理的成長との関係性を、量的および質的研究法を用いて検討したものである。第1章の研究では、大学生野球選手をイップス経験に基づいて3群に分類し、心理的成長の高さを定量的に比較した。その結果、危機を通して向上しやすいとされている心理的成長因子で、イップス経験者および克服者の方が非経験者よりも得点が高くなる傾向が示された。第2章の研究では、イップス経験のある6名の大学生野球選手を対象に、エピソードインタビュー法を用いた調査を行った。質的分析の結果、イップス経験に伴って否定的な心理的变化が生じることもあるが、肯定的な語りも認められ、イップス経験が心理的成長をもたらすことが示唆された。これらの研究成果から、スポーツ選手のイップス経験に対する理解を深化させることができたといえ、本論文は、健康・スポーツ心理学領域に、新たな展望をもたらす研究であると評価できる。よって、本論文は博士（心理学）の学位に値するものと認める。